ハイガー13 馬力除雪機　取扱説明書

■第一章　はじめに

1.1
このマニュアルは注意深く読み、大切に保管してください。

1.2
商品部品リストを注意深く読んでください。

1.3
除雪機については、適切な使用法および、
緊急に停止させる方法を徹底的に熟知しておいてください

1.4
子供には操作させないでください。
地方条例によっては、法律違反になる可能性があります。

1.5
薬物治療中の方、飲酒をした方は運転をしてはいけません。
疲れているか、具合が悪い場合も同様です。

1.6
子供やペットが除雪機の近くにいる場合には、機械を使用しないでください。

1.7
この製品の機能は、路面上の雪を吹き飛ばすことのみです。
使用法が適切ではなかったり、機械の構造を変更したりした場合、
ハイガー産業ではパーツを交換する義務を負いません。
操作にあたっては、作業者は第三者の安全や所有物についての責任を負います。

1.8
この機械を操作するにあたっては、日本国内の法律や法規を遵守してください。

1.9
除雪機を操作する際は、作業に適した衣服、滑り止め付き靴、手袋、遮光保護具を
必ず使用してください。

■第二章　組み立て

2.1
梱包商品リストと全ての部品を照合してください。
もし部品が不足している場合には、ハイガー産業宛てに連絡してください。

2.2

排出シュートの底から 6 本の M6 ボルトおよび、3 つのクランプ・フレークを取り除いてください
(図.1 を参照)

2.3
投雪口の部品をはずしてください。(図.2 を参照)
つば(輪縁)の上に、はずした投雪口を乗せてください。

6 本の M6 ボルトを備えた 3 つのクランプ・フレークを
はずした投雪口の下部にマウントします(2.2 で言及)
ナットで適切に締めてください。(図.3 を参照)

2.4
骨組みの上にロッカースタンドバーをマウントしてください(図.4 を参照)
2 セットのボルトとナットで適切に締めてください。(図.5 を参照)

2.5
ロッカー B の先端から、1 つのスプリング・ピンを取り除きます。(図.6 を参照)

2.6
ロッカー B を、ロッカースタンドバーのゴム輪に挿入して締めます。(図.7 を参照)

2.7
ロッカー A 装着 (図.10 を参照)
ロッカーB にロッカーA を挿入し、セキュリティ・ピンで適切に締めます。(図.11 を参照)

2.8
スクエアバーA を、
骨組みコネクタプラグ B と繋ぐ。(図.12 を参照)
そして、M12 ボルト、ワッシャー、ナットで締めてください。(図.13 を参照)。

2.9
スクエアバー、部品組立てについて:
スクエアバーA を、スクエアバーB に挿入する。(図.14 を参照)
そして、M12 ボルト、ワッシャー、ナットで締めてください。(図.15 を参照)

2.10
投雪口の組立てが完了したなら、
乗り物の後ろのハンガー・プレートに接続します。
M16 ボルト、ワッシャー、ナットで締めてください。(図.16 を参照)

2.11
投雪チェーンを適切な長さに調整します。(図.17 を参照)
チェーンの S 字形フックを、乗り物の前の底にあるハンガー・プレートに結び付けます。
(図.18 を参照)

チェーンのもう一方の端の調整ボルトを締めて、チェーンを引っ張ってください。

(図.19 を参照)。

2.12
電源を本体(12v)に繋いでください。

■第三章　準備について

3.1
除雪機を使用する前に、徹底的に倉庫内の周辺を検査して、
ドアマット、そり、ボード、ワイヤーその他の物などを
近くに置かないようにしてください。

3.2
除雪機を操作する際には、適切な衣服を着用してください。
そして、滑りにくい靴を履いてください。

3.3
ガソリン燃料は可燃性が高いので、取り扱いには注意をしてください。

a)良質なガソリンを使用してください。
b)起動中、あるいはエンジンが熱くなっているときに燃料を足さないでください。
c)ガソリン注入は必ず屋外で行ってください。作業中はタバコを吸わないでください。
d)給油口の蓋を回して締め、こぼれたガソリンを拭き取ってください。

3.4
地面の表面にある小石や砂利等を確認できるように、コレクター・ハウジングの高さを調整してください。

3.5
エンジン起動中には、どんな調整も試みないでください。
（メーカーから特に推奨された場合を除いて）

3.6
どんな機械でも、操作中に目に異物が飛び込む可能性は排除できません。
従いまして、操作中、あるいは調節や修理などを行なう際には、
安全ガラスまたは保護メガネを常に着用してください。

3.7
換気管、回転している部分、熱くなっている箇所には
身体や衣服を近づけてはいけません。

3.8
除雪機を操作する前には、燃料タンクを満タンにしてください。

3.9

タイヤの空気圧をチェックしてください。

3.10
回転刃が柔軟に回転することができることを確かめてください。

3.11
ライトが正常に点くかどうかを確かめてください。

■第四章　操作方法

4.1
回転部品の近くや下部に、手足を差し込まないでください。

4.2
砂利道での操作には特別な注意が必要です

4.3
異物を巻き込んでしまった場合には、エンジンを止めてください。
再起動や再操作を行う前に、修理すべき損傷がないか徹底的に調べてください。

4.4
異常な振動をし始めた場合には、エンジンを止め、直ちに原因をチェックしてください。
振動は、概して、何かの異常の表れです。

4.5
除雪機から離れる際には、どんな場合でもエンジンを切ってください。

4.6
除雪機を修理したり、検査する前には、
回転部分はもちろん、どんな箇所も停止させてください。

4.7
エンジンを屋内で始動させないでください。
ただし、除雪機を移動させる場合を除きます。
その際でも、排気ガスが危険ですので、必ずドアや窓を開けてください。

4.8
でこぼこ道や荒れた道では使用しないでください。

4.9
安全ガードを取り外した状態の除雪機は操作しないでください。

4.10
除雪機は、ガラスの囲いや自動車や
ガラス窓などの近くでは操作しないでください。

投雪口の角度に気をつけてください。
子供やペットは、近づかせないでください。

4.11
除雪機を必要以上に高速で作動させないでください。

4.12
滑りやすい表面上では、高速で作動させないでください。

4.13
バックの際には、注意をしてください。
あらゆる障害物がないか、後方を確認してください。

4.14
除雪機を移動させる場合や、使用しない場合には
オーガ（回転刃）を停止してください。
輸送する際、滑りやすい場所では、あまり速く運転しないでください。

4.15
どんな人も、除雪機の近くにいてはいけません。

4.16
除雪機が動いているのに投雪をしない場合には、
螺旋形のランナーおよび雪出口の中の部分を掃除してください。

4.17
メーカーによって承認された付属品だけを使用してください。

4.18
夜に操作をする場合、最初にライトのチェックをしてください。
足場を確認し、ハンドルをしっかりと握ってください。
走らずに歩いてください。

4.19
乗客を運ばないでください。

4.20
ギヤーを適切にセットして、クラッチを接続してください。
そうすればオーガは前進します。
ギアチェンジの際には、クラッチを緩めてください。

4.21
20 度以上の斜面で使用しないでください。
ひっくり返る危険性があります。

4.22

機械を放置しておく場合、あらゆる予防措置を講じてください。
コントロールをすべて解放して、ギヤをニュートラルに入れ、
駐車ブレーキをセットして、エンジンを止めて、キーを抜いてください。

4.23
除雪作業後には、除雪機の中の蓄積された雪を掃除してください。

4.24
セルによるスタート手順:
1. 換気ドアを開けてください。
2. キーを右回りに回転させてください(図.20 を参照)。
3. エンジンスタートの後に換気ドアを閉じてください。

4.25
エンジンをスイッチオフします。
キーを反時計回りに回して停止させます。

4.26
キーを反時計回りに回す際、同様に投雪口も
反時計回りに回しておきます。(図.21 を参照)

■第五章　メンテナンスと保管

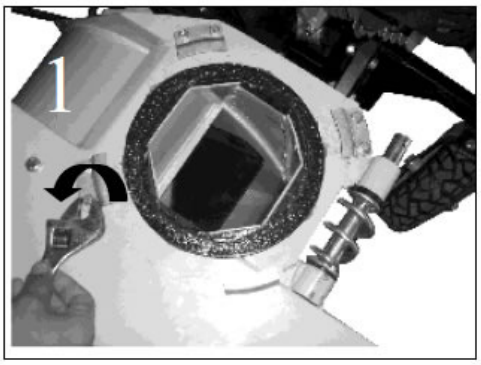
5.1
機械を注意深くチェックして安全性を確認してください。

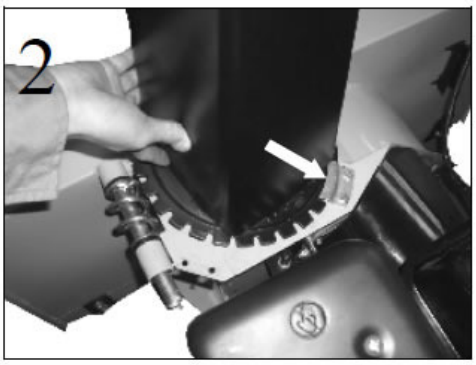
5.2
燃料タンクに燃料を入れたまま保管しないでください。
お湯や暖房機や乾いた布のある場所には一緒に保管してはいけません。
エンジンは保管場所に保管する前に冷えている必要があります。

5.3
もし除雪機を長期間ガレージに保管する場合には、
重要な詳細に関して、この取扱説明書に従ってください。

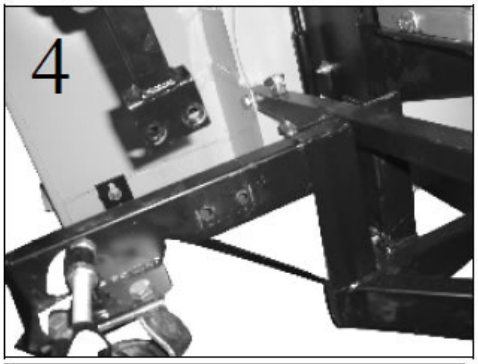
5.4
安全と指示のラベルを貼ったままにしておいてください。
あるいは必要に応じて新しいラベルに貼り換えてください。

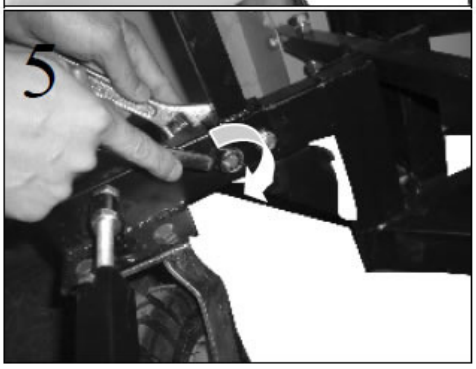
5.5
投雪作業を終えた後、オーガ(回転刃)の氷結を防ぐために
数分間は機械を動かしたままにしておいてください。

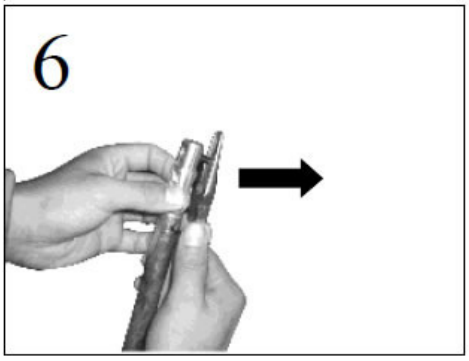

1

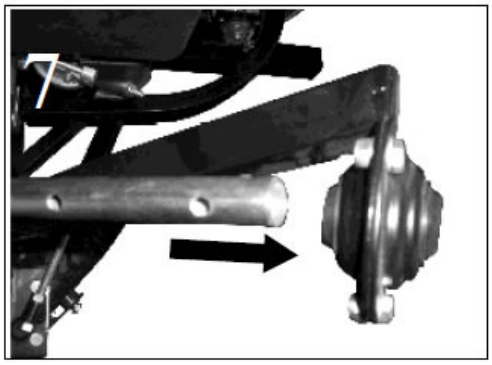

2

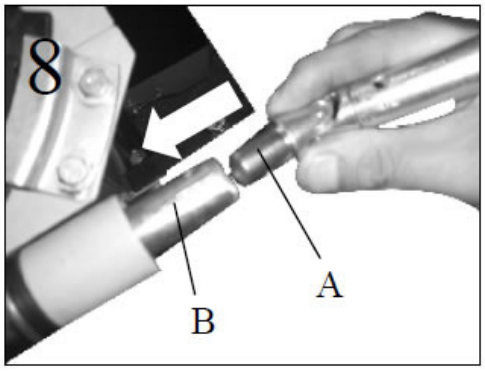
3

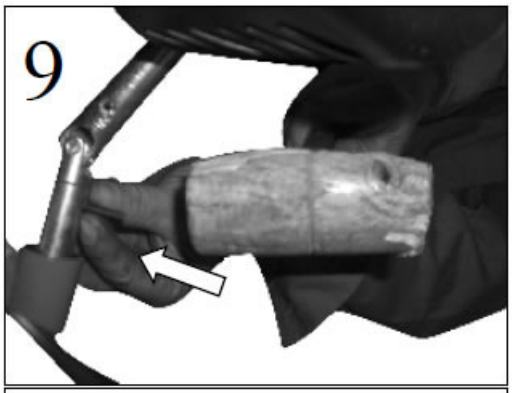

4

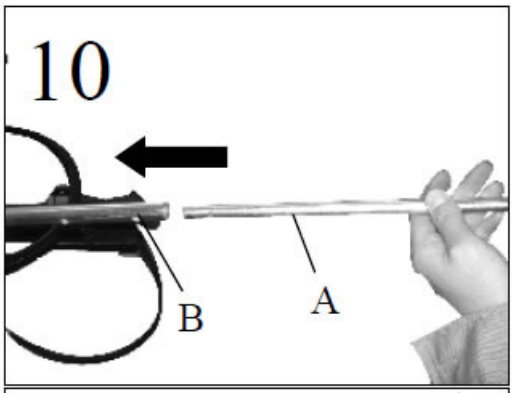

5

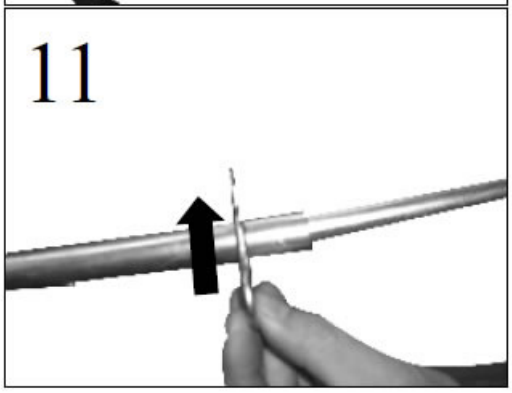

6

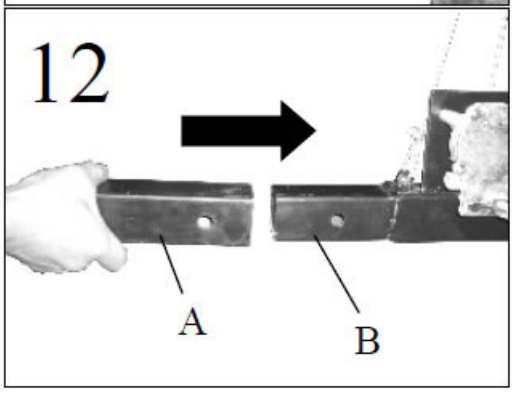

7

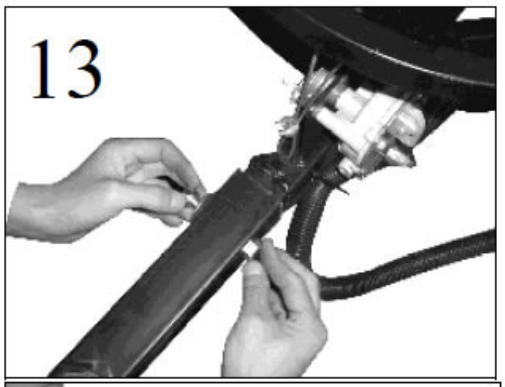

8
A
B

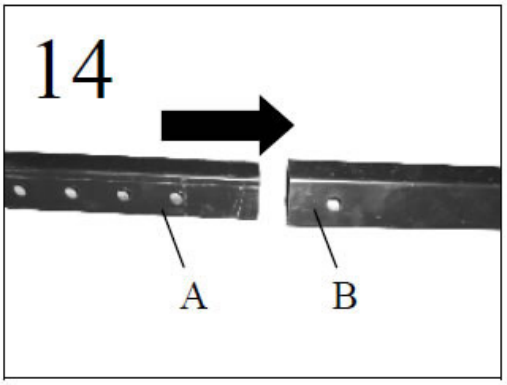

9

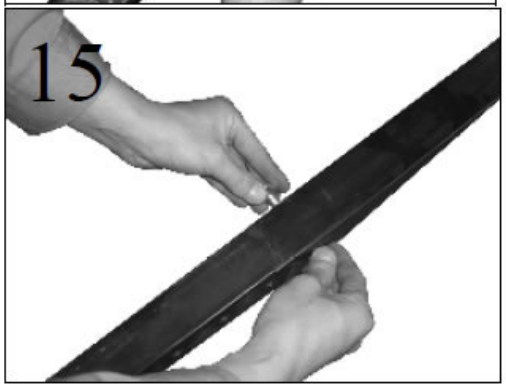

10
B
A

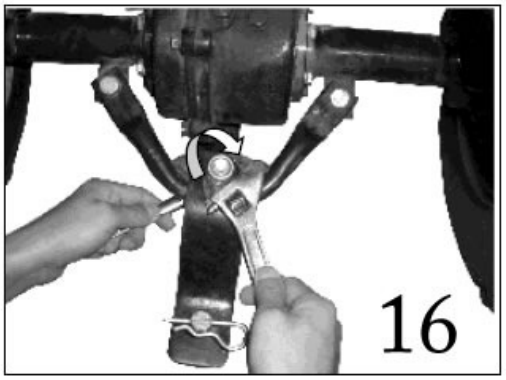

11

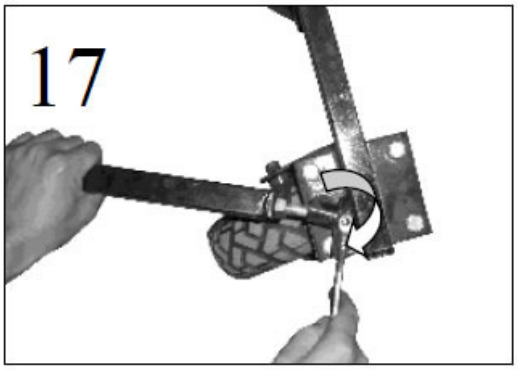

12
A
B

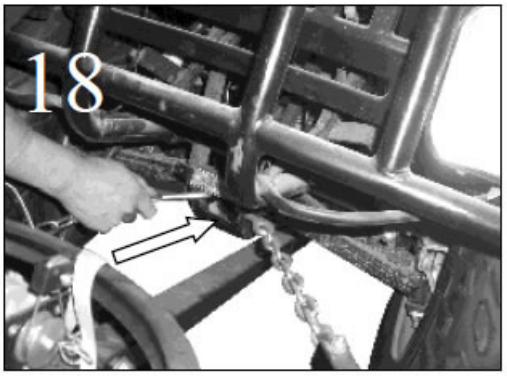

13

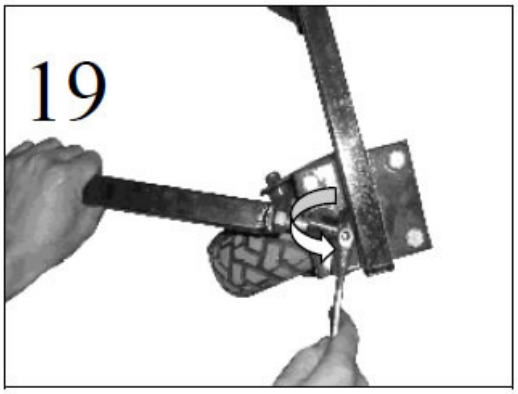

14
A
B

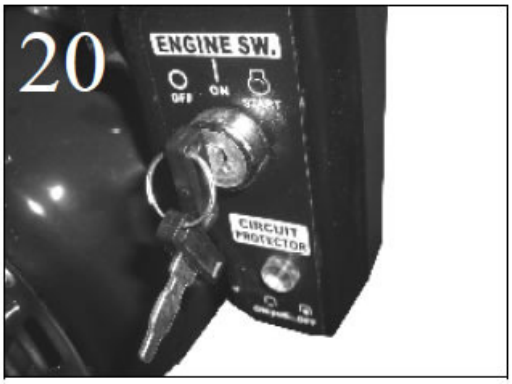

15

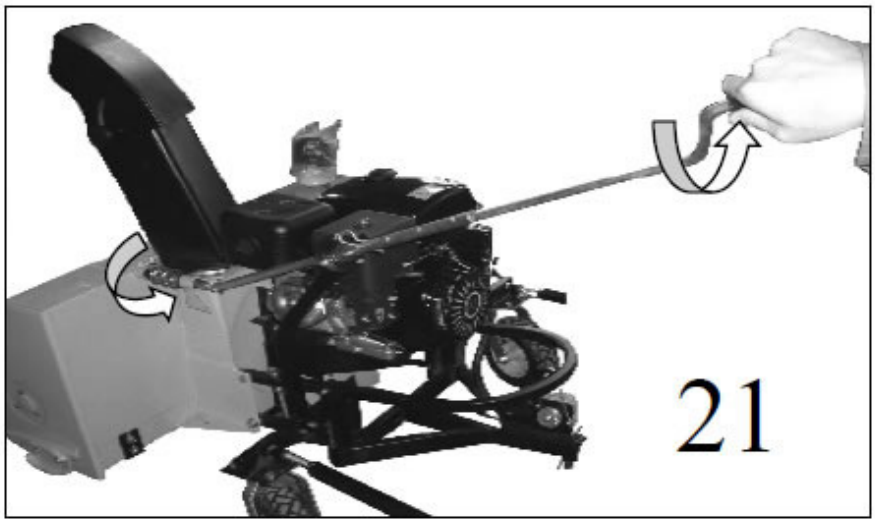

16


17


18


19


20
ENGINE SW.
OFF
ON
START
CIRCUIT PROTECTOR


21